2027年3月期

第２四半期(中間期)決算説明資料

（2026年４月～2026年９月）

Art in Technology

komatsumateRe

第Ⅰ部

1 2027年3月期 第2四半期(中間期)決算の概要

2 2027年3月期 通期業績見通し

2027年３月期第２四半期決算概要

（単位：百万円）

項目	2026年３月期 第２四半期実績	2027年３月期 第２四半期実績	増減	
			金額	増減率（%）
売上高	20,354	**19,787**	△566	△2.8
営業利益	1,353	**1,148**	△205	△15.1
経常利益	1,693	**1,711**	18	1.1
親会社株主に帰属する中間期純利益	189	**1,234**	1,044	550.5

一株当たり純資産	992.97 円	**1,101.39 円**
一株当たり中間期純利益	4.82 円	**32.78 円**

期中平均為替レート	USD	146.02 円	**159.49 円**
	EUR	168.05 円	**184.43 円**

各セグメント別売上高と営業利益

（単位：百万円）

セグメント	売上高				営業利益			
	2026年3月期第２四半期	2027年3月期第２四半期	増減		2026年3月期第２四半期	2027年3月期第２四半期	増減	
			金額	増減率（%）			金額	増減率（%）
繊維事業計	20,107	**19,552**	△555	△2.8	1,320	**1,131**	△189	△14.3
衣料ファブリック	14,461	**14,172**	△288	△2.0	1,172	**997**	△175	△14.9
資材ファブリック	4,276	**4,004**	△271	△6.4				
製品部門	1,371	**1,376**	5	0.4	148	**134**	△14	△9.5
その他の事業	246	**235**	△11	△4.6	34	**17**	△17	△50.0
合計	20,354	**19,787**	△566	△2.8	1,353	**1,148**	△205	△15.1

コメント

- 衣料ファブリック

北米ファッションが好調であるものの、中東民族衣装や国内ファッション及びスポーツ向けが苦戦し、全体として減少。

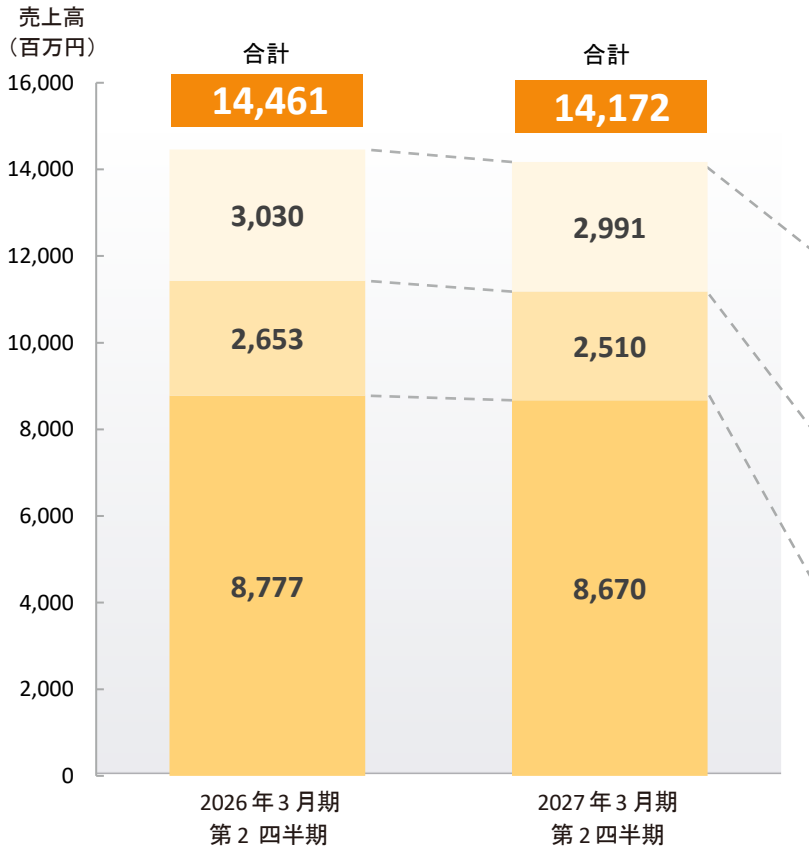
- 資材ファブリック

生活関連資材及び車輌分野が苦戦したことにより、全体として減少。

- 製品部門

国内向け製品販売の不振により減益。

繊維事業　衣料ファブリック部門　売上高



（単位：百万円）

民族衣装

△39（1.3%減）

中東情勢の緊迫化の影響を受け減少。

スポーツ・機能

△143（5.4%減）

スポーツ分野で生産調整により減少。

ファッション

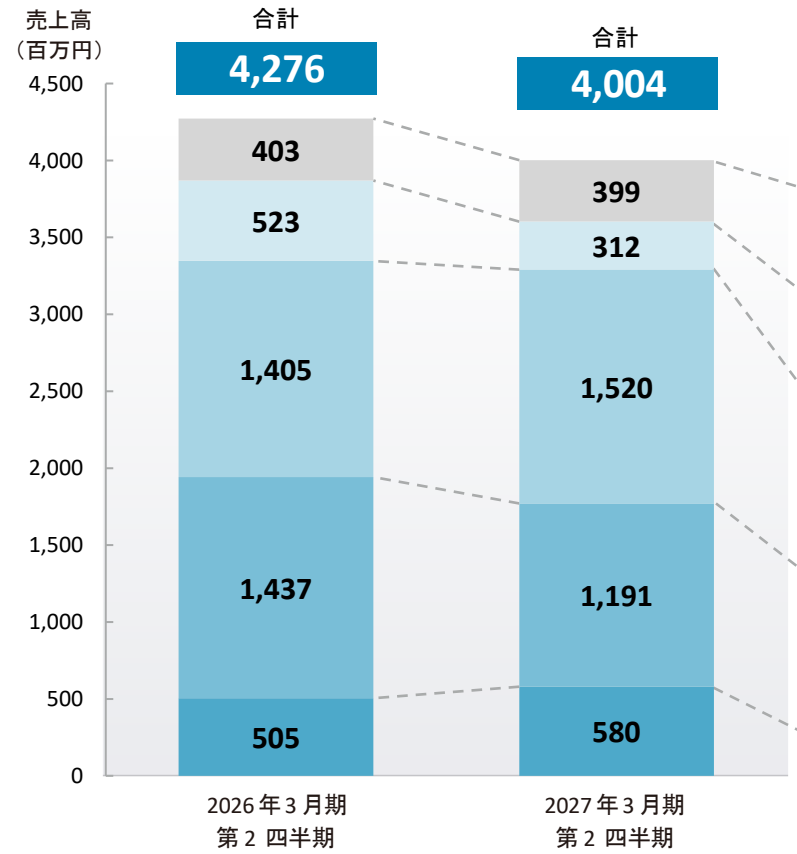
△106（1.2%減）

欧州ラグジュアリー向けは全体として堅調。
北米向けを中心に増加するも、国内向けの生産調整によりファッション全体としては減少。

売上高前期比 △288

2.0%減

繊維事業　資材ファブリック部門　売上高



（単位：百万円）

その他
△4（1.1%減）
ほぼ前年同期並みに推移。

車輌
△210（40.2%減）
車輌内装材の受注減により大幅に減少。

医療・福祉
＋115（8.2%増）
生産性の向上により増加。

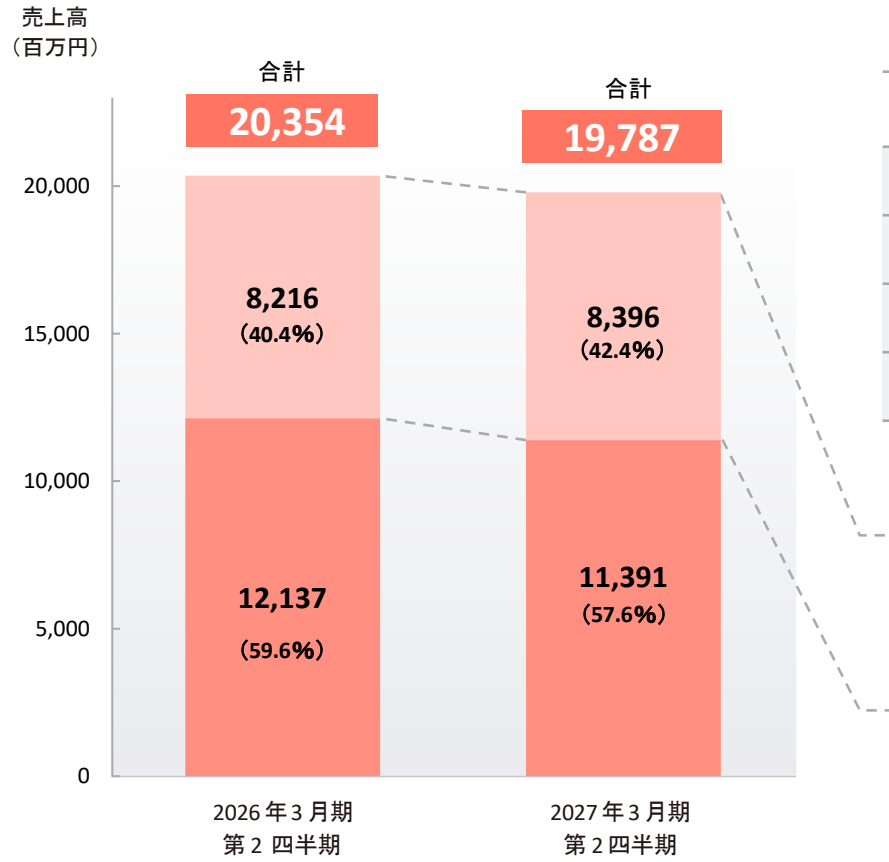
生活関連資材
△246（17.2%減）
鞄等の生活雑貨及び化粧品用途の受注減により大幅に減少。

リビング
＋74（14.7%増）
高付加価値商品導入により増加。

売上高前期比　△271

6.4%減

市場別売上高 (国内・海外)



※ 中間期海外売上高は過去最高。

（単位：百万円）

	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	増減額	増減率（%）
欧州	1,710	**1,229**	△481	△28.1
北米	2,518	**3,237**	718	28.5
アジア他	1,162	**1,175**	13	1.1
中東	2,824	**2,753**	△70	△2.5

海外

180 (2.2%増)

国内

△746 (6.1%減)

● 海外市場

＜欧州＞ ラグジュアリーブランド向けは全体として堅調。ミドルアッパー向けファッション及びスポーツ分野が減少。

＜北米＞ カナダ向けのファッションが引き続き増加。

＜アジア他＞ オーストラリア向けファッションが増加。

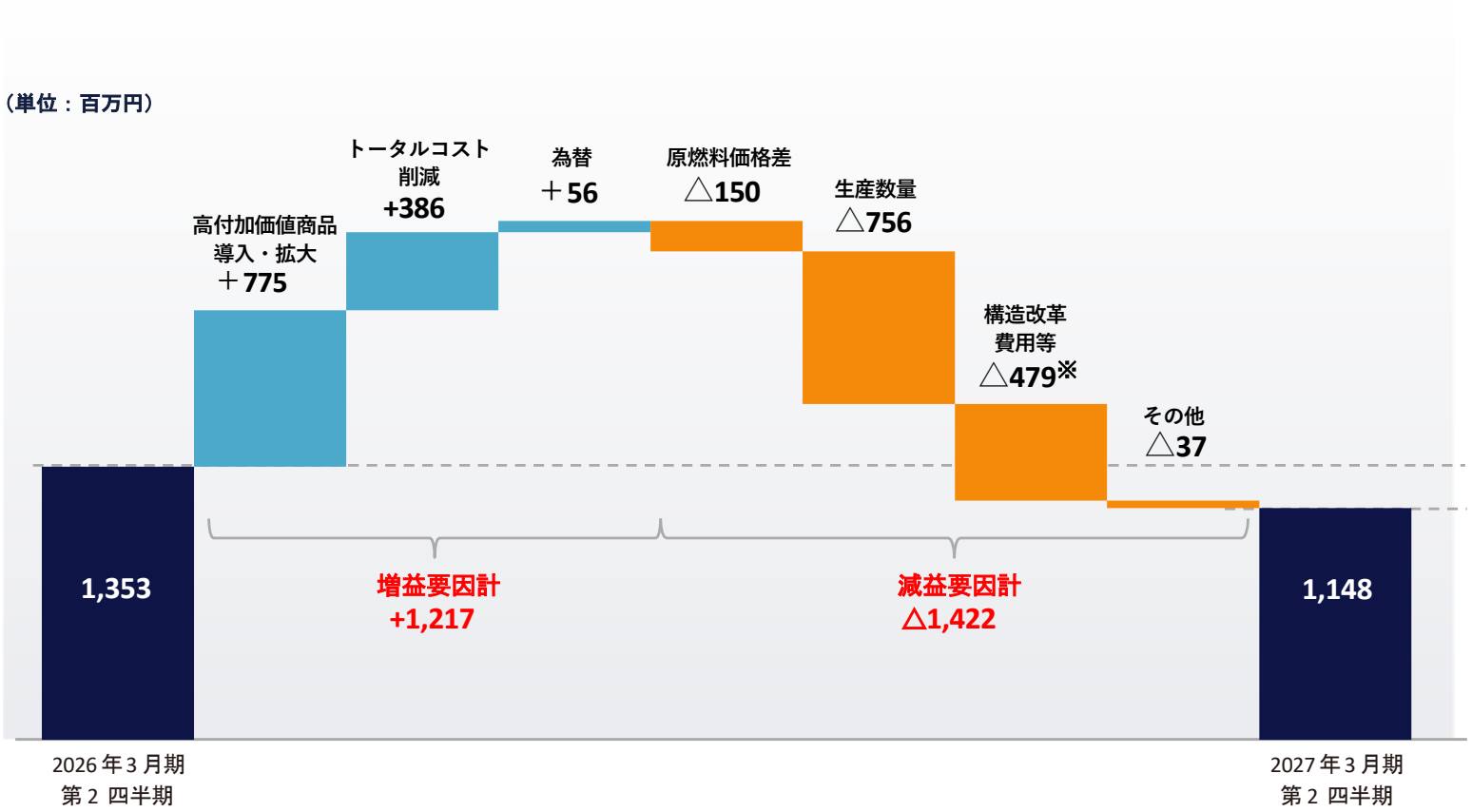
＜中東＞ 中東情勢の緊迫化の影響を受け減少。

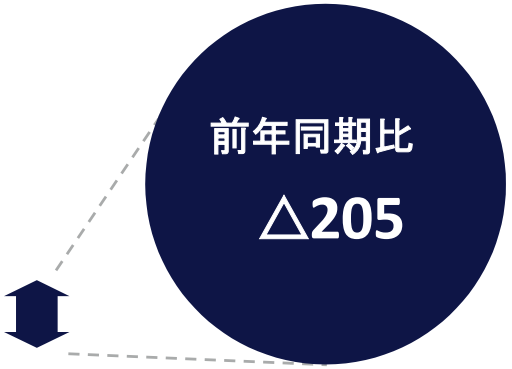
● 国内市場

ファッション及びスポーツ分野を中心に生産調整のため減少。

営業利益増減分析

（単位：百万円）



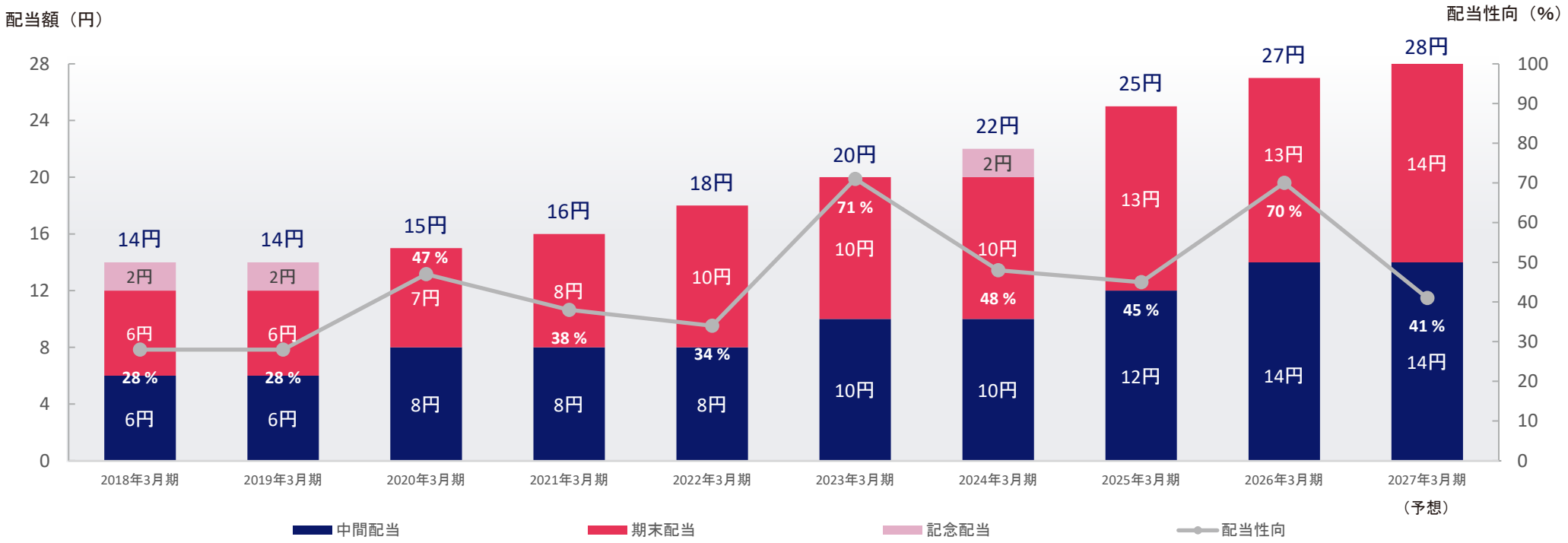


※ 労働環境の改善・製造設備の整備、福利厚生面の充実のための費用を含んでおります。

剰余金の配当について

- 当社は、株主に対する利益還元を重要課題のひとつとし、安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としております。
- 配当性向について当期純利益の**４０％以上**を目安としております。
- 今期の中間配当は、１株当たり**１４円**とします。
  また、年間配当額は前期比１円増配の１株当たり**２８円**とし、**８期連続の増配**を予定しております。

配当推移



第Ⅱ部

1 2027年3月期 第2四半期(中間期)決算の概要

2 2027年3月期 通期業績見通し

2027年３月期 通期業績見通し

（単位：百万円）

項目	２０２６年３月期 通期実績	２０２７年３月期 通期予想	増減（通期比較）	
			金額	増減率（%）
売上高	41,563	**42,500**	936	2.3
営業利益	2,502	**2,600**	97	3.9
経常利益	3,208	**3,500**	291	9.1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,500	**2,600**	1,099	73.2

一株当たり当期純利益	38.51円	**68.19円**

期中平均為替レート	USD	150.67 円	**150.00 円**
	EUR	174.64 円	**175.50 円**

※ 当期業績見通しについて、「売上高」、「営業利益」、「経常利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」は直近に公表されている業績予想から上方修正いたしました。
※ **６期連続増収増益**（営業利益）の予想となります。

本資料中の業績予想、見通しについての記載は、現時点における将来の事業環境・経済状況等の仮定・推測に基づいています。実際の業績は様々な要因の変化により、これと異なる結果となる可能性があることをご理解願います。

Art in Technology

komatsumateRe